

選考方法

- (1) 提案内容の優劣についての相対評価とする。
- (2) 評価内容ごとに1位から5位まで順位を付け、順位に応じた配点を合計し、得点が最も高い提案者を協働発行业務候補者とする。
- (3) 評価内容ごとに同一の評価となった場合は、同順位とし、次順位は欠番とする。
- (4) 得点が最も高い提案者と合意に至らなかった場合は、次に得点の合計が高い提案者を協働発行业務候補者とする。

評価基準

評価項目	番号	評価内容		配点					
				1位	2位	3位	4位	5位	6位以下
業務実施体制	1	市との連絡手段	確実かつ市に負担の少ない方法か	15	12	9	6	3	0
	2	事業スケジュール	適切なスケジュールを設定しているか	40	32	24	16	8	0
	3	校正	初校を含め4回以上設定されているか	50	40	30	20	10	0
	4	校正方法	確実かつ市に負担の少ない方法か	40	32	24	16	8	0
掲載記事案	5	デザイン	見やすく、わかりやすいものを提案しているか	20	16	12	8	4	0
	6	構成	見やすく、わかりやすいものを提案しているか	20	16	12	8	4	0
	7	特集ページ	利用者にとって有益な企画を提案しているか	50	40	30	20	10	0
	8	独自提案	市にとって有益なものであるか	40	32	24	16	8	0
規格	9	ガイドブックの概要	昨年度実績程度としているか	40	32	24	16	8	0
広告	10	掲載内容の確認	確実かつ市に負担の少ない方法か	20	16	12	8	4	0
事業実績	11	実績	実績があるか。成果物は見やすく、わかりやすいものであるか。	40	32	24	16	8	0